

小腸カプセル内視鏡検査の流れとは

1. 検査の前日

- 消化の良い食事を午後10時までに取り、その後の飲食はお控えください。
- 喫煙はカプセルを飲む24時間前からおやめください。



2. 検査の始まり

- 病院でアンテナを腹部に貼付し、記録装置をベルトで腰に付けます。



- カプセル内視鏡を適量の水で飲み込みます。その後は職場に、ご家庭にお戻りいただけます。

3. 検査の終わり

- およそ8時間後、病院に戻り、アンテナと記録装置を返却します。
- カプセルは排便時に、体外に排出されます。



* 排出されたカプセルは所定の回収バッグに入れ、
地方自治体や病院のルールに従い、適切に廃棄
してください。

医療機関によっては、検査時間や指示内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

カプセル内視鏡による
小腸・大腸検査は

飲むだけカプセル内視鏡  で検索

<https://nomu-capsule.jp/>



お問合せ先

施設名

Medtronic

コヴィディエン ジャパン株式会社
TEL:0120-998-971

medtronic.co.jp

GIH-233

© 2020 Medtronic.
mt-ce-sb(01)
2011.2000.sh.y

飲むだけの

カプセル内視鏡 小腸検査



監修：
岩手医科大学医学部 内科学講座
消化器内科消化管分野
教授
松本 主之 先生

小腸カプセル内視鏡検査って何？

小腸カプセル内視鏡検査とは

超小型カメラを内蔵した長さ約26mm×幅約11mmのカプセルをビタミン剤のように口から飲み込んで行う内視鏡検査です。



カプセル内視鏡
実物大

カプセルは消化管を通過しながら画像を撮影し、画像を記録装置に転送します。医師はこの画像をもとに小腸の診断を行います。



注意: カプセル内視鏡検査は、主治医の指導のもと適切な方法で実施してください。

小腸カプセル内視鏡検査の特徴

- 従来の小腸検査に比べ、物理的な苦痛が少ない検査です。
- 検査中は日常生活ができます。



- 検査開始2時間後からお水、4時間後から軽い食事を取ることができます。

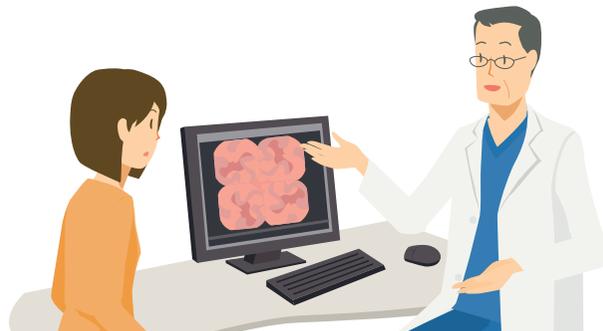
2時間後



4時間後



※ すべての医療行為にはリスクが伴う場合があります。安全かつ効果的にカプセル内視鏡検査が行えるように、検査に伴うリスクや禁忌(禁止事項)、適応症などについては、主治医から事前に説明があります。



小腸カプセル内視鏡検査は保険適用です

※ 保険適用の詳細につきましては、担当医師や検査施設にご確認ください。

小腸疾患の診断に役立ちます

小腸は、全長が6m~7mと長く、全消化管の75%を占める、体内で最も長い臓器です。前述の通りにカプセル内視鏡は飲み込んで行う内視鏡検査です。食べた物を運ぶように、自然な小腸の動きでカプセルを進めながら長い小腸内を直接撮影していきます。小腸内を直接観察し、クローン病や原因不明の消化管出血など小腸疾患の診断を物理的な苦痛が少なく行える検査です。



■ 消化管開通性評価について

病気で消化管が狭くなっている場合は、小腸カプセル内視鏡検査を行う前に、消化管開通性確認用カプセルを使用してカプセルが消化管を問題なく通過できるかどうかの確認を行ってから、小腸カプセル内視鏡検査の実施の判断を医師がします。



消化管開通性確認用カプセル
実物大